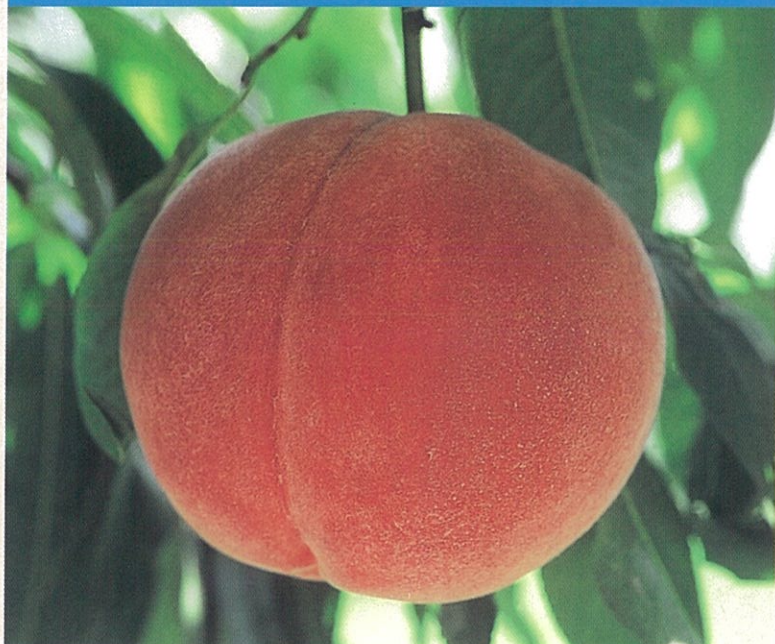


なつっこ

長野県果樹試験場育成品種



来歴

「なつっこ」は長野県果樹試験場が「川中島白桃」に「あかつき」を交配し「モモ長果6」として選抜育成しました。

平成12年12月22日に登録番号第8565号として品種登録されました。
(旧試験名：モモ長果6)

生態特性

発芽期	3月下旬～4月上旬で、主要品種と同時期である。
開花期	4月下旬～5月上旬で、主要品種と同時期である。
成熟期	8月中・下旬に成熟する中生種
満開後成熟に要する日数	110～120日

形態特性

果実の形	扁円形
果実の大きさ	300～350g
果皮	着色は良好である。 裂果は少ないが、無袋栽培では果点荒れが生じやすい。
果肉	乳白色で核周囲及び果肉内の着色は少ない。 果肉はち密で締まり、肉質は溶質である。
糖度	13～17%で「川中島白桃」よりやや高い。
酸度	pH4.9～5.0で主要品種に比べてやや少ない。
核	核と果肉の粘離は粘核である。
樹体	樹勢はやや強く、やや開張性を示す。 複芽で花芽が多い。花は普通咲きで花粉を有する。

栽培特性

生理落果	「川中島白桃」並みに少なく、生産は安定している。
果実の生理障害	双胚果及び核割れの発生は少ない。
耐病虫性	通常の薬剤散布のもとで特に問題となる病害虫はない。 せん孔細菌病に対しては、主要品種に比べて病斑発生が少ない。
収穫期	8月中・下旬(須坂市) 川中島白桃より10日程度早く愛知白桃とほぼ同時期である。
貯蔵性	「川中島白桃」並みで良い。

栽培適地

県内における試作結果は、「有望」との評価がされている。
県下全域で栽培可能である。

栽培上の留意事項

- (1) 結実が良好で、生理的落果も少ないため安定生産できる。
貯蔵養分の消耗を防ぎ、果実の初期肥大を促すため、摘蕾を実施する。
- (2) 無袋栽培では果面が荒れるため、有袋栽培を基本とする。
- (3) 病害虫防除は、他の主要品種並みでよい。
(主要品種と同じ防除で可能)

その他

- (1) 糖度が高く、食味が優れる。
- (2) 果皮が大きく、豊満で商品化率が高い。



●苗木のご注文は、長野県果樹種苗協会員業者・農協へお申し込み下さい

〈問い合わせ先〉

●長野県うまいくだもの推進本部 (長野県庁農政部園芸特産課内) TEL: 026-235-7229
<http://www.dia.janis.or.jp/~umakuda/> E-mail: umakuda@dia.janis.or.jp